学校番号	218

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	「美術 3」（光村図書出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

12 年生で美術を選択し、引き続き 3 年生でより深い表現を学びたいと思う生徒が
この科目を選択しています。作品のサイズが大きくなり、使用する道具も 12 年次とは違って
複雑で、難しい課題に挑戦します。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的感覚を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	課題に興味を持ち、効果を考えながら意欲的に取り組んでいる。	感性を働かせて、美術の良さや、美しさを感じ取り、創造的に表現を工夫している。	創造的な美術表現を実現するために、必要な技術を身につけている。	美術を幅広く理解し、自分や他者の表現から、美しさを味わっている。
評価方法	・授業態度 ・アイデアスケッチ ・練習プリント	・授業態度 ・アイデアスケッチ ・練習プリント ・作品 ・作品の制作レポート	・授業態度 ・作品	・授業態度 ・作品の制作レポート ・鑑賞レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	デザインの基礎	●オリエンテーション ・美術室の使い方や評価方法についての説明 ・授業ルールについての説明 ●組み合わせデザイン ・着色デザイン	◎	◎	◎	○	a:題材の意図を理解し、意欲的に取り組んでいるか。 b:美しく仕上がるための手順を考えながら計画的に着色している。 c:水彩絵の具の特性を理解しながら着色している。 d:自分や他者の作品を鑑賞することで、作品の意図を読み解き、味わうおうとしている。	・授業態度 ・授業プリント ・作品 ・制作レポート ・鑑賞レポート
2学期	あかりのデザイン 卒業制作	●あかりのデザイン ・ランプシェードを作る ●卒業制作 ・12 年次制作した課題をさらに発展させる ●鑑賞 ・教科書、映像作品等より	◎	◎	◎	○	a:題材の意図を理解し、意欲的に取り組んでいるか。 b:あかりの効果を考えながら計画的に制作している。(あかりのデザイン) b:12 年次の制作経験を生かしさらに発展させたテーマで計画的に制作している。(卒業制作) c:正しく道具を使い、針金を接続することができる。(あかりのデザイン) c:自身で設定したテーマに合う表現に効果的な道具を選定し、正しく使うことができる。 d:自分や他者の作品を鑑賞することで、作品の意図を読み解き、味わうおうとしている。	・授業態度 ・試作品 ・アイデアスケッチ ・作品 ・制作レポート ・鑑賞レポート
3学期	卒業制作の続き	2 学期の続き ●鑑賞 ・教科書、映像作品等より	◎	◎	◎	○	d:自分や他者の作品を鑑賞することで、作品の意図を読み解き、味わうおうとしている。	・授業態度 ・鑑賞レポート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。